

外来がん看護

エンパワメント支援の理論と実際



片岡 純 [編著]

B5 173頁 定価(本体2,600円+税)

入院期間短縮に伴う外来治療への移行、がんと共に生きる時代…外来での看護の重要性がますます高まっています。がんサバイバーのエンパワメントを支える外来看護の実際とその意義を「みえる化」。スペシャリストナースによる充実した事例集。また、看護師の実践を支えるための理論的な探求をエンパワメント支援の看護論として提示。ナース自身のエンパワメントにも資する、外来がん看護の指針！

ISBN978-4-902630-19-0

(2013.1)

[主要目次]

第1章 外来がん看護の展望 1 病院の顔としての外来看護 2 外来看護実践システムの整備 3 患者の主体性を育む看護援助プログラム 第2章 外来におけるがんサバイバー支援 1 がんサバイバーシップ 2 がんサバイバーが抱える課題 3 がんサバイバーのためのサポート 第3章 心のケア 認知行動療法的な介入 1 がんに対する心の反応 2 外来通院患者にみられる心の問題 3 認知行動療法を看護に活かす 第4章 緩和ケア 外来における症状コントロール支援 1 緩和ケアの現在 2 外来における緩和ケア 第5章 外来がん看護事例集 エンパワメント支援の実際 ①化学療法室で ②放射線治療科で ③乳腺科外来で ④栄養・嚥下外来で ⑤ストーマ外来で ⑥リンパ浮腫外来で 第6章 エンパワメント支援の看護論 1. エンパワメントとは 2. 道程の伴走者 3. エンパワメント支援の外来がん看護 3-1 がん罹患の心理的衝撃や、がんと共に生きることに伴う苦悩に対する援助 3-2 意思決定を支援する 3-3 治療・副作用・後遺症に伴う諸問題への対処能力を高める 3-4 地域でその人らしい生活を営むことへの支援 3-5 再発や病状悪化の不安に対する援助 3-6 がん罹患を自己成長の契機とし《自分なら乗り越えられる》と思えることへの支援 4. 状況の意味から実存的意味へ ●●結論

編著：かたおか じゅん（愛知県立大学看護学部教授）

Case Report ●事例1～20の筆者：愛知県がんセンター中央病院/専門看護師・認定看護師9名

★書店でお買い求めください。専門書店以外では棚にない場合が多いと思いますが、お取り寄せは必ず可能です。
★直接注文も承ります。郵便、FAX、電話、Eメール chumon@spica-op.jp 等でお申し付けください。ホームページでもご案内しています <http://www.spica-op.jp> (送料:200円、2冊以上同時注文は無料)

裏面を注文票としてご利用ください。

【注文票】 書店を通される場合にも本票を利用されると確実です。ご利用の書店にお渡しください。

すぴか書房 宛 FAX 048-464-8336

書名	片岡 純 編著	冊 注文します
	外来がん看護 エンパワメント支援の理論と実際	
	定価 (本体 2,600 円+税)	
	ISBN978-4-902630-19-0	
発行所	すぴか書房 〒351-0114 和光市本町 2-6 レインボープラザ 602 TEL 048-464-8364 Eメール chumon@spica-op.jp	日付 月 日
お客様 (お届け先)	ご住所 〒	
	フリガナ お名前	電話 FAX Eメール :

[備考]